

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	後期	3年次
科目名	小児看護学実践論Ⅲ（子どもの特徴的疾患と看護）					
担当教員	◎溝口幸枝 土井拓 石橋かず代 橘美保子 井上莉沙 熊谷恵利子					
目的	小児特有の疾患の病態や治療を理解し、健康障害を持つ子どもとその家族に必要な看護援助が実践できる基礎的能力を身につける。					
目標	1. 小児特有の疾患や病態、治療について理解することができる。 2. 疾病を有すること、障害をもつこと、入院が必要なことが子どもと家族にとってどのような体験であるのかを理解することができる。 3. 小児看護を实践するために必要な看護技術について理解できる。 4. 健康障害を持ち、様々な状況にある子どもと家族に必要な看護の展開について理解できる。 5. 事例に基づき、子どもの発達段階や疾病特有の問題に対する看護援助の方向性を考え、看護過程を展開することができる。					
他科目との関連	発達とライフサイクル 家族社会学 小児看護学概論 小児看護学実践論Ⅰ 小児看護学実践論Ⅱ 母性看護学 広域発展看護学 体のしくみと疾病の成り立ち 実践基礎論Ⅰ 実践基礎論Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.8
	レポート	提出状況と内容について評価する。				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	1. 奈良間美保他 小児看護学概論 小児臨床看護学総論 医学書院 2. 奈良間美保他 小児臨床看護各論 医学書院					
参考資料	○二宮敬子, 今野美紀編集:小児看護学概論, 南江堂 ○今野美紀, 二宮敬子編集:小児看護技術, 南江堂 ○松尾宣武, 濱中喜代編集:小児保健・健康障害をもつ小児の看護, メヂカルフレンド社 ○中野綾美編集:ナースング・グラフィカ小児看護学③小児の疾患と看護, メディカ出版 ○石黒彩子, 浅野みどり編集:発達段階からみた小児看護過程+病態関連図第2版, 医学書院 ○荃津智子編集:発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程, 医歯薬出版 ○鴨下重彦, 柳澤正義監修:子どもの病気の地図帳, 講談社					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	小児期の診療（治療、処置、検査、診察）上、必要な看護援助について教科書や文献から予習や復習をして授業に臨むこと。					